

EPAハノイ便り

10月号

令和元年10月14日

ARCベトナム校発行

作文紹介

EPAベトナム7陣ハノイ校では、10月に入り、いよいよ12月のJLPT本試験に向けた研修の総仕上げの時期となりました。今月は、候補者が授業で書いた作文をご紹介します。

ベトナムの交通問題について（10月の作文）



1組 フィン・タン・ダット
ベトナムでは最近交通問題がた
くさんあります。悪いと思います。
交通問題は本当にベトナムの大き
い問題です。

私の意見は3つあります。まず交通事故のことはた
くさんあります。お酒を飲ん
だ後で乗り物を運転する人や、
乗り物を運転しながら電話を
したり、ヘルメットをかぶら
なかったり、時々道に動物が
突然現れたりして、とても危
ないです。犬とか猫とか牛が
たくさんいます。



ハノイの大通りの混雑状況

次に大気汚染のことです。ベトナムは
バイクがたくさんありますから、煙がた
くさんあります。空気が汚染されやすい
です。

最後に渋滞のことです。毎日渋滞して
います。みなさんはよく仕事に遅れています。学生
は授業の時間に遅れます。とても困ります。ベトナ
ムの交通は不便だと思います。

ですから出かけるとき、よく気を付けなければな
りません。交通のルールを守らなければなりません。
乗り物を運転するとき、安全に注意しなければなり
ません。

ウサギとカメラについて（9月の作文）



14組 ゲン・チュオン・モン・トウイー

「ウサギとカメラ」はイソップと
いうギリシャの作家によって書か
れました。この話はとても有名で、
世界中の言語に訳されたので、先
生とみなさんは子供の時、読んだ
ことがあるかもしれません。短い話なのに、本当に
深い意味があると思っています。

昔々、あるところにウサギとカメラがいました。ウ
サギはいつも自分の早さを自慢していました。それ
で、カメラの足が遅いのを見て、ウサギはバカにして
笑いました。カメラは元来穏やかで、真面目な性格が
あって、マラソンの試合でウサギに挑戦しました。
すると、競争が始まったかと思ったら、たちまち足

の速いウサギがカメラを引き離しました。ウサギは足
が速いと思って安心していただけから、途中で大きな木
を見つけたとき、その木かげでのんびり休みました。
いつの間にか寝てしまいました。それからしばらく
して、ウサギはぐいんと飛び起きました。でも、ウ
サギはとにかくカメラがまだ後ろにいるはずだと思
ったから、できるだけゴールに向かいました。一方、
試合が始まってから、カメラは一生懸命這いました。
諦めずに、休まず歩き続けた末に、カメラは先にゴー
ルしてしまいました。

ウサギがカメラに敗れたのは、ごう慢な態度だから
です。人間は才能があっても、いいかげんにしてい
たら、失敗します。でも、才能がなくても、真面目
で、せっせと頑張ったら、必ず成功するようになります。
JLPTの試験が近づいて、合格できるかど
うかは、これから2か月の頑張りにかかっていると
思っています。これから、できるだけ勉強しようと
思っています。

私は賢くないから、カメラのようにぜひ諦めずに、
一生懸命がんばります。「勤勉は賢さを補う」ので
はないでしょうか。先生に応援していただきたいで
す。

病院や施設へ派遣された後で困らないように、日
本語の表現力も磨くよう指導しています。試験勉強
も佳境です。JLPT本試験に合格し、来年日本へ
行って看護師や介護福祉士として働けるように、こ
れから皆で頑張ります。